

2025 年 5 月 20 日

報道関係各位

大 和 ハ ウ ス 工 業 株 式 会 社
大和ハウスプロパティマネジメント株式会社

全国の物流施設において 地域共生活動「DPL 地域つながるプロジェクト」開始

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大友 浩嗣、以下：大和ハウス工業）と大和ハウスプロパティマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大島 武司）は、大和ハウス工業が開発した物流施設「DPL」※1において、地域共生活動「DPL 地域つながるプロジェクト」を開始しました。

※1.大和ハウス工業が開発する物流施設のブランド。全国で 351 棟開発。（2025 年 3 月末時点・施工中含む）



【「DPL 地域つながるプロジェクト」ロゴ】

両社は、地震や豪雨などの災害発生時に地域住民の安全・安心を守るため、大和ハウス工業が開発した物流施設「DPL」が位置する、一部の自治体※2と協定を締結し、住民の一時避難場所などとして活用してきました。また、「DPL」を地域住民に開かれた施設とするため、カフェテリアの開放や集会所・遊具広場の設置、イベントを開催するなど、地域と共生する施設づくりを推進しています。

そしてこのたび、「DPL」において本格的に地域共生活動を実施するため、「DPL 地域つながるプロジェクト」を始動。第一弾として、2025 年 5 月 17 日に大和ハウス工業最大の物流施設「DPL 流山Ⅳ」において防災イベント「ソナエル防災 in 流山」※3を開催しました。当日は、「DPL 流山Ⅳ」周辺の住民約 50 名に参加いただき、集中豪雨や台風などの発生を想定した車両での避難体験や、VR（仮想現実）・AR（拡張現実）※4技術を使用した防災体験等を実施。災害発生時の「DPL 流山Ⅳ」の活用について学んでいただきました。

今後当プロジェクトでは、防災イベントをはじめ、フェスタやスポーツイベント、施設見学会、職場体験などを開催し、地域住民に開かれた物流施設として、地域共生活動を推進していきます。

※2. 2025 年 5 月 19 日現在、18 自治体。

※3. 主催：大和ハウス工業 後援：流山市 企画運営：大和ハウスプロパティマネジメント
協賛：あいおいニッセイ同和損害保険

※4. シミュレーションした環境で現実の環境を拡張したり、置き換えたりするテクノロジーのこと。

■今後の「DPL 地域つながるプロジェクト」主な予定

- ・2025年5月31日 マルシェ「FUKAGAWA MARCHE」開催（DPL 江東深川）
- ・2025年7月 COCOLAN※5（ミニ胡蝶蘭）鉢植え体験（DPL 久喜宮代）
- ・2025年8月 ロジフェス江東深川「4thアニバーサリーフェス」（DPL 江東深川）
- ・2025年9月 「モルック※6・ロジフェスカップ」（DPL 久喜宮代）
- ・2025年12月 クリスマスイベント（DPL 流山Ⅳ、DPL 江東深川、DPL 久喜宮代ほか）
- ・2026年2月 マルシェ開催（DPL 流山Ⅳ、DPL 江東深川、DPL 久喜宮代ほか）

※5. 大和ハウス工業が開発した住宅団地「緑が丘ネオポリス」（兵庫県三木市）の栽培施設において、独自技術で栽培した胡蝶蘭のこと。HP：<https://www.daiwahouse.co.jp/business/cocolan/>

※6. フィンランド発祥のスポーツで、木製の棒（モルック）を投げてピン（スキttl）を倒し、得点を競う競技のこと。

■2025年5月17日に開催した「ソナエル防災 in 流山」の様子

（１）イベント概要

- ・自家用車での避難体験
- ・流山市防災講演会
- ・「DPL 流山Ⅳ」施設見学会
- ・VR・AR 防災体験
- ・「DPL 流山Ⅳ」防災クイズ・かるた大会

（２）参加者の声

- ・近隣に背の高い建物があるのは、水害時などの非常時に心強いと感じました。（40代）
- ・自家用車を運転して、実際に一時避難場所に乗り入れられて良かったです。（50代）
- ・VR 防災体験で実際の揺れを視覚的に感じ、地震への危機感が高まり、常に防災への備えが必要であることを、改めて実感しました。（50代）
- ・物流施設は普段入ることができないですが、実際に入ったところ内観も綺麗で、免震構造も採用され、強靱な建物ということが理解できました。講演会で漠然とした不安から備える気持ちになり、学べる時間をいただき感謝します。たくさんの方に知っていただきたいので、今後の継続開催を希望します。（60代）

（３）当日の様子



以 上

お問い合わせ先	
大和ハウス工業株式会社 広報企画部	
東京広報グループ	03-5214-2112
広報グループ	06-6342-1381